

JAL闘争を支える京都の会News No.94

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

JAL不当解雇から13年！私たちは 納得できる解決まであきらめない さあ、全面解決へ！

2023年5月9日、大手筋商店街（京都市伏見区）でJAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ、「きょうとユニオン」、「連帯ユニオン関生支部」、「自立労連」、「合同繊維労組」、「米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会」の皆さんなど、計14人にご参加いただきました。今回の宣伝行動にはJAL被解雇者労働組合（JHU）副委員長の小栗純子さんが参加しました。



小栗さんは「私はJALを2010年の大晦日、不当にも解雇されたパイロット81名、客室乗務員84名の人権回復とそしてこの13年間の補償を

求めて闘いを続けているJAL不当解雇撤回争議団35名のひとりです。今日は、私たちの解雇のときに日本航空の会長職であってJAL再建に関わった元京セラ会長の稲盛和夫氏のお膝元であるこの大手筋の通りで、私たちのJALの解雇がどのように納得のできないものであったのか、皆さまに知っていただき、解雇争議解決の皆さまの声をぜひ上げていただきたいと思って宣伝行動をおこなっている。



日本航空は運動が大きくなっていくか、いかないかそれしか見ていない。企業として納得のいく解決を、そしてグローバルな航空会社として責任を持ってこの争議を解決しようという積極的な努力を日本航空には見せていただきたいと強く願っている。

日本航空は2010年に破綻した時に事業規模縮小にともない従業員の人数を減らす、全体で1万6千人を減らすという計画を立てた。そして最後まで納得いかず希望退職に応じなかったパイロットと客室乗務員165名、全体の1万6千人からするとほんの1%にすぎない労働者を大晦日に整理解雇した。モノを言う労働者の解雇が目的だった。

私たちはこの争議を解決することによって日本航空にもう一度、きちんと職場から声を上げる、おかしいことはおかしいと言えることのできる職場環境をつくっていきたく願っている。皆さん、仲間が今配っているビラをお取りいただき、JALで起こった中身について知ってください。そして解決のために力を貸してください。」と訴えました。他にもきょうとユニオンのKさん、Oさん、京都の会会員のIさんらがJAL不当解雇撤回を訴えました。



小栗さん (JHU) の参加報告 (JAL不当解雇撤回争議団の facebook から)

2023年5月9日

京都伏見桃山御陵駅近く、亡くなった稲盛元会長のお膝元、大手筋商店街でJAL闘争を支える京都の会の皆様と共に定例宣伝行動を行いました。お忙しい中、13名の支援者に参加していただきました。

稲盛氏が亡くなって以降も、買い物客、お店の方の反応もよく、ビラの受取り、話かけてこられる方も多く、いつも元気を頂けます。

今日も ある店の店員さんが仕事に出てこられ、注意されるのかと思ったら「JALはたくさんの職員を採用しているのに、解雇した人を職場に戻さないのはおかしい。がんばってください。」と温かい言葉が。

大店法にも負けず頑張る商店街。何か私達の闘いとも通じるものがあるのかもしれません。



さあ！全面解決へ

JAL 争議の早期全面解決をめざす全国統一行動

- ☆ 実施期間 2023年6月1日～6月11日
- ☆ 行動内容 全国各地での宣伝行動・要請行動
- ☆ 集約行動 6月17日 12:00～13:00
羽田空港でスタンディングアピール

京都は

6月6日(火) 午後2時～3時 伏見・大手筋商店街 での宣伝行動にご参加ください。(呼びかけ JAL闘争を支える京都の会)